

科目名	国際関係学演習 Seminar: International Affairs and Communications	科目コード	10960
-----	--------------------------------------------------------------	-------	-------

学科名・学年	全学科、全学年共通
担当教員	中山 雅友美（一般）、池田 富士雄（機械）、島宗 洋介（電電）、高橋 章（電制）、村上 能規（物質）・井林 康（環境）
区分・単位数	選択・1単位
開講時期・時間数	通年，15回【内訳：演習15（発表含む）】
教科書	授業時に担当教員が必要に応じて配布
補助教材	
参考書	

【A. 科目の概要と関連性】

近い将来、国際舞台で活躍する技術者を目指し、本セミナーを通じ留学生と日本人学生が互いの異文化を理解し、互いの立場を尊重しながら世界基準のコミュニケーション能力を身に付ける。留学生と日本人学生がグループで協力し取り組むテーマを設定し、意見交換をしながら議論を深める。深めた議論を基にプレゼンテーションコンテストへ参加し、外部に情報発信を行う。尚、担当教員はファシリテーター並びにアドバイザーとして本セミナーに参画する。

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(B)と主体的に関わる。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
① 国際比較の視点から日本文化や異国文化を理解し、互いの立場を尊重して討議することができる	50	(b1)
② 国際関係の視点から異文化理解に役立つ情報を発信できる	50	(b3)

【C. 履修上の注意】

1～5年生の学生が一斉にグループ学習を行う。積極的な参加・発信を期待している。4、5年生はアドバイザー的役割が期待される。1～3年生は12月に朱鷺メッセで開催される新潟県国際交流協会主催の国際理解教育プレゼンテーションコンテストでの発表を行う。

なお平成28年度以降に修得した国際関係学演習の単位は、進級単位にならないが、卒業単位になる。また本授業は皆勤賞の対象である。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60%以上を単位認定（評価、評点なし）とする。

- プレゼンテーションの発表、及びプレゼン支援（50%）
- レポート・他者評価など（35%）、出席・発言など（15%）

【E. 授業計画・内容】

● 通年（火曜 9,10 限：隔週開講）

回	内容	備考
1	オリエンテーション&自己紹介	4/25(火)
2	グループワーク：身近なテーマでファシリテーションの演習	5/16 or 23(火)
3	グループワーク：留学生の国紹介（日本人から見た発見）、日本人の出身地紹介（又は、日本の文化についての紹介）	6/13(火)
4	グループワーク：違う視点をテーマにファシリテーション演習	6/20(火)
5	プレゼンチーム決め・テーマ検討	6/27(火)
6	プレゼンに向けて担当決め・内容の話し合い（1）	7/4(火)
7	プレゼンに向けての話し合い（2）	7/11(火)
8	プレゼンに向けて担当・内容の再確認・話し合い（3）	10/3(火)
9	プレゼンに向けての話し合い（4）	10/10(火)
10	プレゼンに向けての準備・練習（1）	10/17(火)
11	プレゼンに向けての準備・練習（2）	10/31(火)
12	プレゼンに向けての準備・練習（3）	11/14(火)
13	プレゼン発表リハーサル	12/12(火)
14	国際理解教育プレゼンテーションコンテスト@朱鷺メッセに参加	
15	一年間の活動の振り返り	12/19(火)

※上記予定は予告なしに変更する可能性があります。開講日については、掲示にて後日お知らせします。